



発行
あすなる園
家族会
倉敷市玉島勇崎
しあわせの里
あすなる園内
(086)
528-3110

『特別養護老人ホーム』 あすなる園増築工事竣工

入園者の「生活向上」をめざした ユニークな建物完成!

地域の要介護老人やその家族から熱切な要望によって建設を進めて来た、特別養護老人ホームあすなる園の増設工事がこの度完成した。

社会福祉法人松園福祉会(中塚正人理事長)では、今年七月三十一日建設工事に着手していたが、十一月末完成、十二月一日開園の運びとなった。

この工事は設計は、建築事務所双南舎が担当。機能性を重視した設計となっている。建築工事は大成建設で高度な技術力で短期間にすばらしい建物を完成させている。これによってこれまで定員五十名であったものが、三十名の増床で合計八十名(別にショートステイ十名)となった。

建物は、居室が四人居屋七室(内一室は建替)、二人部屋三室、寮母室、会議室、便所、車椅子用浴室、ナース室、リネン室等がある。また、食堂(機能回復訓練室)、厨房、医務室、阿弥陀堂等を増築した。設備面では、介護リフト装置を四人居屋六室に完備。百パーセント離床を実施している当園にとって、寮母さんの労働軽減に大きな力を発揮する。また車イス入浴装置を設け、車イスに座った状態で入浴できるもので、入園者は、落ち着いた雰囲気に入浴できる。居室には、鶴が羽ばたく模様デザインされた綴帳が設けられ、毎月の誕生会等の催事が一段と楽しいものになる。園庭には、車椅子で散歩できる遊歩道にベンチが置かれ、憩いの場ができた。

これらの総事業費は、約三億一千万円で、国、県、市の補助金と設置者負担金で賄われる。すでに入園者三十名のほとんどが決定しており、開園と同時に順次入居の予定。



増築工事が完成した
あすなる園全景

『真の福祉社会の創造』

倉敷市社会福祉協議会
倉敷ボランティアセンター
所長 平松 正臣



我が国の福祉における理論諸制度、方法論、については先進といわれた欧米諸国へ追いつくという明確な目標の下に、急激な変化を遂げて参りました。しかし、その目標も概ね達成でき、今日では、その内容の充実について見直しを重ねている状況にあると言えるでしょう。

経済的に多少なりとも安定し自由時間の増大に伴う余暇時間の過ごし方が人生の意味に大きく関与してくると思われまますが、こうした時代の流れの中で、教育や娯、相互扶助、レジャー活動、地域を主体とした趣味、文化、ボランティア活動などの多面的な分野において、家族やコミュニ

特にボランティア活動においては、高齢者や障害者の方々が、家庭、職場、地域で生活社会活動に参加できて、真の福祉社会創造の原動力となるでしょう。



導入された車椅子入浴装置(同型)

真剣に将棋に打ち込むお年寄り

デイ・サービス

あすなる園デイ・サービスは、五年目を迎えました。開園当初からの利用者も多く毎日が大賑わいです。

現在、地域の一五〇名の方が、地域別に離れ、週に一度利用されています。「一週間が待ちどおしい」「今日は何するん」と送迎バスの中で

虚弱体質の在宅老人に対して日常生活動作の訓練や食事の提供、レクリエーションを行う事業である。主に老人福祉センターや特別養護老人ホームを使っての事業。週数日午前九時～十時頃から午後四時頃まで、その施設で食事と入浴、訓練やレクリエーションを行うセンターにはA型という重い症状の老人向けとC型という生涯対策中心のセンター、B型はその中間で、その数は最も多い。(現代用語辞典より)



似合うかな? 仮装大会で

八月は、「夏祭り」、九月は、敬老祝賀会を行い「かくし芸」を披露していただきます。

十月は、紅葉狩りに出かけ十一月は、文化祭で日頃の力作を地域の方々に自慢し、十二月は、クリスマス会や忘

年会でゲームや仮装大会で楽しみます。

その他にも盛り沢山のプログラムを準備し、利用者の方々に喜んで頂けるよう努力をしています。

デイ・サービスを利用することは、在宅生活を継続する上でなくてはならないサービスです。一日を楽しく満足して頂くために、より多くの人に利用して頂きたいと願わずにいられます。

帰り際に「ありがとう。楽しかった。」という笑顔が、老人福祉に携わっている我々の励みであり、誇りでもあります。

そして、これからのデイ・サービス内容をより充実させ、利用者のニーズに対応できるようにしたいと思います。

利用者の笑顔につつまれながら、楽しさと満足感を得て頂くために、努力していきたく思います。

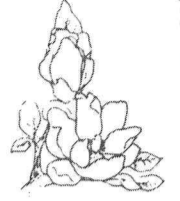
寮母 井上 紀子

ボランティアの皆さん ありがとうございました

- 6月12日～10月30日
(順不同・敬称略)
- 森分 広子
 - 中村 陽子
 - 小野 鶴子
 - 小野 シズコ
 - 秋山 和恵
 - 塩塚 由香
 - 岡 照恵
 - 小室 美枝
 - 生峰 民子
 - 末吉 和子
 - 滝沢 英子
 - 福田 操
 - 西 れい子
 - 渡辺 直美
 - 池原 与志子
 - 守屋 美津子
 - 浅原 二三江
 - 原田 智子
 - 原田 雅子
 - 原田 雅子
 - 若狭 光子
 - 小出 安子
 - 徳 ツヤ子
 - 前山 つる
 - 徳 徳員
 - 前田 節子
 - 中 隆弘
 - 宗吉 ハルエ
 - 富田 澄子
 - 藤原 トシ子
 - 田辺 清子
 - 熊谷 ハツエ
 - 和田 真弓
 - 山崎 拓美
 - 滝沢 宏子
 - 藤本 春正
 - 神田 富由美
 - 神田 清子
 - 蓮尾 清子
 - 岡崎 智英
 - 兼伍 徹
 - 溝手 とよ子
 - 森分 華子
 - 根本 光義
 - 養毛 忠
 - 橋本 千鶴子
 - 宮原 正
 - 中野 玉江
 - 中山 栄子
 - 横田 廣

- 坂東弘幸三社中
- 小谷かなりや保育園
- 柏島幼稚園
- 山口 和香音
- 藤本 春正会
- いづみ乙島保育園
- 玉島ライオンズクラブ
- 黒崎中学校生徒会

「介護日誌」(1)

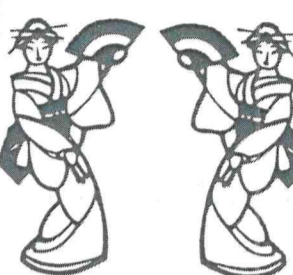


寮母主任
山川政子

当園では、入所者の皆さん一人一人に応じた快適な生活をしていただける様

- ◎ 生活処遇委員会
- ◎ リハビリ運動委員会
- ◎ 厚生給食委員会
- ◎ 安全環境防災委員会
- ◎ 食事部会
- ◎ 入浴部会
- ◎ 排泄部会

「京都より舞妓さん来園」



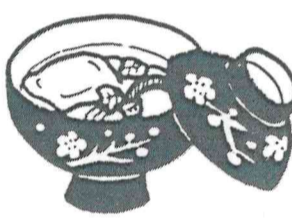
九月九日、玉島ライオンズクラブの招待で、京都より舞妓さんが、当園の慰問に来られました。

機械浴から一般浴にはいれるようになったのですが、同意してく... 時間を決め、プールに移動して排泄をしてもらいます。失敗の日々が続きます。しかし、ある日、ナイスコールでAさんが呼んでいきます。飛んで行くと、「おしっこをさせて下さい。」とおっしゃられ、ポータブルに誘導しますと、排泄音がします。「出来たね。良かったね」と拍手を送りました。この時の喜びは、今でも忘れられません。しかし、成功するとさばかりではありません。その間、本人が、おしめの方が楽で良いという時期もあり、どちらがAさんにとって幸福なのかと葛藤の日々で一進一退が続きました。でも今では、排泄はもとより、生活全般に関して自立され、お風呂も、

配食

サービス

高齢になつたら、まず食事づくりがおっくうになる。誰でも感じる事柄です。あすなろ園では、在宅福祉サービスの第一環として、高齢者の健康の維持を第一の目的に、住み慣れた土地で自立して暮らし続ける手助けとして、昨年十一月より食事サービスを始めました。配食方法は、週三回で、自宅まで届けます。



対象者は、
◆ おおむね六十五歳以上の一人暮らしで機能が低下しているお年寄り
◆ どちらか一方が虚弱夫婦世帯
◆ 一人暮らしの重度身体障害者
◆ その他必要と認められた方に
利用に際しては、あすなろ園在宅介護支援センターに相談していただくことになっていきます。

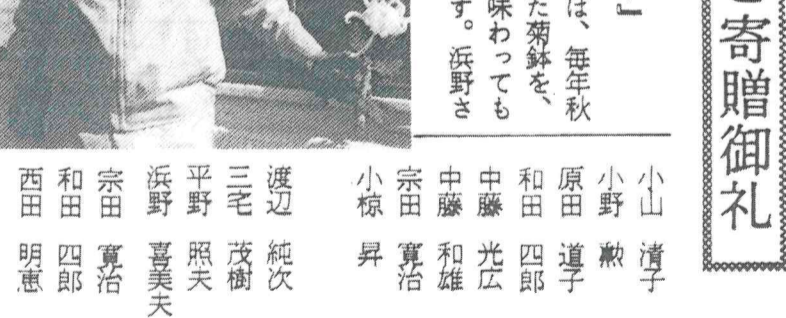
「配食サービス利用者の声」
(問) 配食サービスを受けるきっかけは?
(答) 足の機能低下に伴い、買い物もおっくうで、食事の準備もできなくなつて困っていた時、配食サービスを取っている友達から紹介されました。
(問) 配食弁当の味は?
(答) 献立の種類も多く、とてもおいしいです。特に、温かい汁物が付いているので嬉しいです。味噌汁、清汁、かきたま汁、うどん等...
(問) これからの注文?
(答) 日曜・祭日も配達してほしいです。



今回は、デイ・サービスと配食サービス、次回は、在宅老人短期保護事業(ショートステイ)とホームヘルパーを予定しております。

家族会(園だより担当) 中藤 和雄

「見事な菊をプレゼント」
玉島黒崎 浜野喜美夫さんは、毎年秋になると、丹精こめてつくった菊鉢を、入園者の皆さんに「季節感を味わってもらおう」と寄贈して下さいます。浜野さんありがとうございます。



小山 清子	金一封	滝沢 昇一	花
小野 勲	金一封	小野 隆雅	花
原田 道子	金一封	海徳寺	花
和田 四郎	金一封	野田 和男	花
中藤 光広	金一封	西 改治	花
中藤 和雄	金一封	大寺 永	花
宗田 寛治	金一封	みちる保育園	花
小原 昇	金一封	原田 千鶴	花
渡辺 純次	果物	原田 昇子	花
三宅 茂樹	果物	安藤 タヨ	花
平野 照夫	果物	若狭 和彦	花
浜野 喜美夫	菊鉢	岡部 明	花
宗田 寛治	タオル、野菜		
和田 四郎	ジュース		
西田 明恵	タオル		

くめクオリティ・プロダクツ(株) 納豆、ケース、片山 淑子、ジュース、藤沢 勝昭、果物、奇島町社会福祉協議会、奇島町役場、朝日新聞、奇島町安吉、野菜、原田 兵衛、野菜、岡山県農林部普及課、花

一陽来福
明治七年、二十七年、三十七年、大正七年、昭和七年、十七年、二十七年... 西南の役前夜、日清戦争、日露戦争、シベリア出兵、五・一五事件と上海事変、太平洋戦争でミッドウェイ海戦に大敗、メーデー事件により破防法公布、そして平成七年、どうみても7のつく年がラッキーな年だとは思えません。天災に始まった年も、人々の思惑とは関係なく、歴史の大きな一ページが終わろうとしています。新しく迎える年が、末広がりの八年となる事を願ってやみません。 柳風の日々から...とあすなろ歌壇は、今回は休みとなりました。新しく「介護日誌」シリーズを寮母さんにお願ひしました。ご期待下さい。 また、「しあわせの里」老人福祉センターの各種サービスを掲載したいと思っております。

ご寄贈御礼

六月十二日(十月二十日) (順不同・敬称略)

新入職員紹介

がんばりますので、よろしくお願ひします



寮母 土井敦子、寮母 磯谷雅子、寮母 尾藤愛子、看護婦 森下由香、看護婦 末広裕子、調理員 中藤明美、寮母 栗尼和美